

第2232回 夜間例会

2月17日(木)雪 / 18:00 ~ 20:00 [石亭]

1. 式次第 点鐘
国歌斉唱
ロータリーソング「それでこそロータリー」
水巻啓光会長挨拶
幹事報告
ニコニコボックスの披露
閉会点鐘
2. 懇親会 落語 津幡おきらくごの会
「動物園」俱利伽羅亭まこも、「花筏」新風亭談夫
小泉幸雄会長エレクト挨拶
ロータリーソング「手に手つないで」

3. 出欠
出席 12名 欠席 27名
 4. ニコニコボックス
水巻君、喜多君
厳寒での夜間例会ご苦労さま、参加ありがとうございます。
津幡おきらくごの会様のお話楽しみにしております。
- 中村(實)君
今日は落語楽しみです。
- 畠君 少ない人数ですが楽しく行きたいと思います。
- 内堀君 津幡おきらくごの会の皆様、本日はありがとうございます。
落語二題、楽しみにしています。
- 木村(功)君
先週木曜日に無事退院できました。ありがとうございます。
合計 19,000円 (累計 205,000円)
2月例会は出席義務免除につき出席率は表示しません



第2233回 例会

3月10日(木)晴れ / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]

1. 講話
金沢ふるさと偉人館副館長
増山 仁氏 氏
「高峰譲吉と渋沢栄一」
2. 出欠
出席 21名 欠席 19名
3. 誕生日祝い
馬場君(1日)、中村(芳)君(2日)、小嶋君(10日)、松田君(13日)、
野村君(16日)、北川君(19日)、畠君(25日)、向峠君(26日)
4. 結婚記念日祝い
松田君(21日)、水巻君(21日)、馬場君(28日)、畠君(30日)、
卯野君(31日)
5. 幹事報告
・トンガ王国海底火山大規模噴火支援募金の件
・地区研修協議会、地区大会参加の件
・ウクライナでの救済活動支援のための寄付窓口紹介
・映画「種まく旅人」DVD販売の件



6. ニコニコボックス
水巻君、喜多君
啓蟄も過ぎ本格的に春が来ていますがコロナは相変わらず
迷走です。増山先生の講話楽しみにしています。
- 中村(實)君
増山先生、お忙しい中ありがとうございます。今日のお話
たのしみしております。小嶋さん「れんこん」ありがとう。
松田君 お誕生日、結婚記念日です。ありがとうございます。
内堀君 増山様、本日はありがとうございます。本日の講話楽しみに
しています。
- 畠君 春はすぐ近くの曲り角まで来ました。今日は増山先生の卓
話ずーっと楽しみにしていました。
- 野村君 68才になります。小嶋さま「れんこん」ありがとうございます。
中村(芳)君
誕生日にお祝いありがとうございました。
合計 15,000円 (累計 220,000円)

第2234回 例会

3月17日(木)晴れ / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]

1. 講話
会員 畠 善昭 君
「私の思うところ」
 2. 出欠
出席 22名 欠席 18名
 3. 委員会報告
財団委員会・ウクライナ寄付の件
 4. ニコニコボックス
水巻君、喜多君
ガバナー補佐都合により、急遽畠委員長に卓話をお願いし
ました。久しぶりの畠節楽しみです。
- 中村(實)君
本田ガバナー補佐の代わりに畠さんのお話が聞ける幸運に
恵まれ感謝です。
- 畠君 ピンチヒッターで私の拙い話を。
- 魚住君 年忘れ会作品展
合計 102,000円 (累計 322,000円)



4月予定

金沢市内 RC の例会変更は各クラブホームページでご確認いただくか、事務局へお問い合わせください。

講話予定

- 4月14日(木) お花見例会 (18:30 ~、松魚亭)
- 4月21日(木) 例会
- 4月28日(木) 例会
- 5月5日(木・祝) 休会

●会長/水巻 啓光 ●会長エレクト/小泉 幸雄 ●副会長/山上 公介
●幹事/喜多 利行 ●副幹事/木村 康徳 ●会場監督/野村 眞一郎 ●会計/松田 光代
●クラブ会報委員長/的場 晴次

●会員数/42名 ●クラブ設立/昭和48年10月3日
◎例会日/木曜日 12:30~13:30
◎例会場/松魚亭 金沢市観音町3-4-45 TEL:076-252-2271 FAX:076-252-2273

金澤北ロータリークラブ



発行 2022.4.7thu

No. 984

事務局/金沢市大手町15番15号 金沢第2ビル4階
TEL:076-254-6368 FAX:076-254-6395
E-mail:office@kanazawa-north.jp
HPアドレス:http://www.kanazawa-north.jp



兼六園「梅園」

「春に漢詩を詠う」

会員の場 晴次

中国4千年の歴史の中で、我が国にも様々な影響を及ぼしてきました。その中の一つに漢詩があります。

今回は私の好きな劉希夷、李白、杜甫の漢詩を紹介させていただきます。

代悲白頭翁

(白頭を悲しむ翁に代わって)

劉希夷

洛陽城東 桃李の花、
飛び来たり飛び去って誰が家にか落つ。
洛陽の女兒 顔色を惜しみ、
行々落花に逢って長く嘆息す。
今年 花落ちて顔色改まり、
明年 花開いて復た誰か在る。
既にみる 松柏の砕かれて薪と為るを、
更に聞く 桑田の変じて海と為るを。
古人 洛城の東に復る無く、
今人 還た落花の風に対す。
年年歳歳 花相似たり
歳歳年年 人同じからず。
言を寄す 全盛の紅顔の子、
応に憐れむべし 半死の白頭翁。

洛陽の東郊に咲き乱れる桃や李(すもも)の花は、風の吹くままに飛び散って、どこの家に落ちてゆくのか。洛陽の乙女たちは、わが容色のうつろいやすさを思い、みちみち落花を眺めては深いため息をつく。

今年、花が散って春が逝くとともに、人の容色もしだいに衰える。来年ひらく頃には誰がなお生きていることか。常緑を謳われる松や柏も切り倒されて薪となるのを現にみだし、青々とした桑畑もいつしか海に変わってしまうことも話に聞いている。

昔、この洛陽の東で花の散るのを嘆じた人ももう二度と帰ってこないし、今の人もまた花吹き散らす風に向かって嘆いているのだ。年ごとに咲く花は変わらぬが、年ごとに花見る人は変わっていく。今は盛りの紅顔の若者たちよ、どうかこの半ば死にかけた白髪の老人を憐れと思っておくれ。



月下独酌(月下の独酌)

李白

花間 一壺の酒、
独り酌んで相親しむもの無し。
杯を挙げて名月を迎え、
影に対して三人と成る。
月 既に飲を解せず、
影 徒らに我が身に随う。
暫く月と影とを伴い、
行楽 須らく春に及ぶべし。

咲きにおう花かげに酒徳利を持ち出したが、相伴してくれる友もない。そこで杯をあげて名月を招き寄せ、わが身の影と合わせて三人の仲間ができた。だが、月はなにしろ飲むことができないし、影も私にくっついて回るだけだ。まあともかく月と影を相手にして、春を去らぬ間を存分に楽しもう。

我れを歌えば 月 徘徊し、
我れ舞えば 影 零乱す。
醒むる時は同に交歓し、
酔うて後は各々分散す。
永く無情の遊を結び、
相期す 遙かなる雲漢に。

私が歌えば月は歩み、私が踊れば影もゆらめく。覚めている間はこうして楽しみもにし、酔ってしまえばたがいにさようならさ。だが月と影、この無情のものといつまでも交友を結び、はるかな天の川で再会を約束する。

春望

杜甫

国破れて山河あり
城春にして草木深し。
時に感じて花にも涙をそそぎ、
別れを恨んで鳥にも心を驚かす。
邦家 三月に連なり、
家書 万金に抵る。
白頭 搔けば更に短く、
渾て簪に勝えざらんと欲す。

国都は破壊しつくされて、昔の姿をとどめているのは山河だけだ。城内にも春がめぐってきて、いまや草木がこんもりと生え茂っている。この先行ゆき多難な時局を思うと、美しい花を見ても涙がこぼれるし、親しい人々との別れを嘆いては、鳥の声にも胸騒ぎがする。のろしの火は三月にわたってもやまず、家からの手紙は万金のねうちがある。白髪頭は、搔けば搔くほど短くなって、もうかざしも挿せなくなりそうだ。

以上、岩波書店「中国名詩選(中)」から抜粋しました。

